

## イチジク黒かび病

英名 : Rhizopus rot

病原 : *Rhizopus stolonifera* (Ehrenberg) Vuillemin (接合菌類)



被害果の症状

### 生態と防除

発症部位 : 果実

発生の経過 : 1. 伝染源 … 土壌中や空気中に常に存在している。  
2. 発生消長 … 収穫期、成熟果実の芽の部分から水疱状に腐り、黒色の胞子を形成する。胞子は空気中を浮遊するが、ショウジョウバエにより媒介されることが多い。

発生しやすい条件 : 20℃以上の温度と多湿条件が重なると発病しやすい。

防除 : 腐敗果、過熟果の早期撤去。ショウジョウバエ防除。